

2022年度 第2四半期 決算説明会資料

2022年11月17日
南海電気鉄道株式会社
(東証プライム市場 9044)



目次

I. 2022年度 第2四半期 決算概要	2
II. 2022年度 通期業績予想	18
III. 中期経営計画「共創140計画」の進捗状況	26
Appendix	47

I. 2022年度 第2四半期 決算概要

業績ハイライト

(単位:百万円)

	2022/2Q 実績 (A)	2021/2Q 実績 (B)	対2021/2Q実績		2022/2Q 期初予想 (2022年4月公表) (C)	対2022/2Q期初予想	
			増減額 (A-B)	増減率		増減額 (A-C)	増減率
営業収益	108,240	91,614	16,626	18.1%	110,200	△ 1,959	△ 1.8%
営業利益	9,446	3,797	5,649	148.8%	7,800	1,646	21.1%
営業外収益	854	934	△ 79	△ 8.5%			
営業外費用	2,085	2,213	△ 128	△ 5.8%			
経常利益	8,215	2,518	5,697	226.2%	6,300	1,915	30.4%
特別利益	390	23,593	△ 23,202	△ 98.3%			
特別損失	593	23,748	△ 23,154	△ 97.5%			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,116	1,587	5,529	348.4%	4,900	2,216	45.2%

<主な増減理由:対2021/2Q実績>

運輸業における輸送人員の増加や、不動産業におけるマンション販売の増加等により増収増益

<主な増減理由:対2022/2Q期初予想>

新型コロナウイルス感染再拡大の影響や、建設業における完成工事高の減少により減収となった一方、費用の節減や建設業において利益率が改善したこと等により増益

セグメントの構成状況（2022年9月末現在）

【連結子会社53社・非連結子会社17社・持分法非適用関連会社6社】

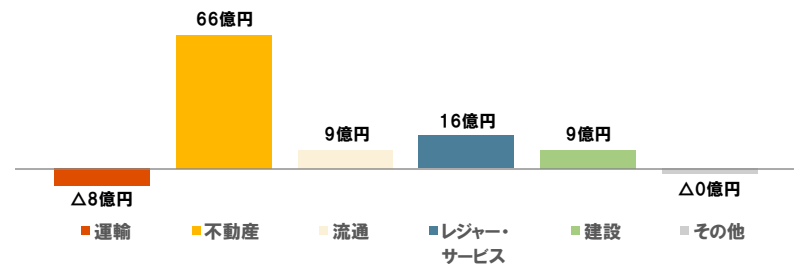
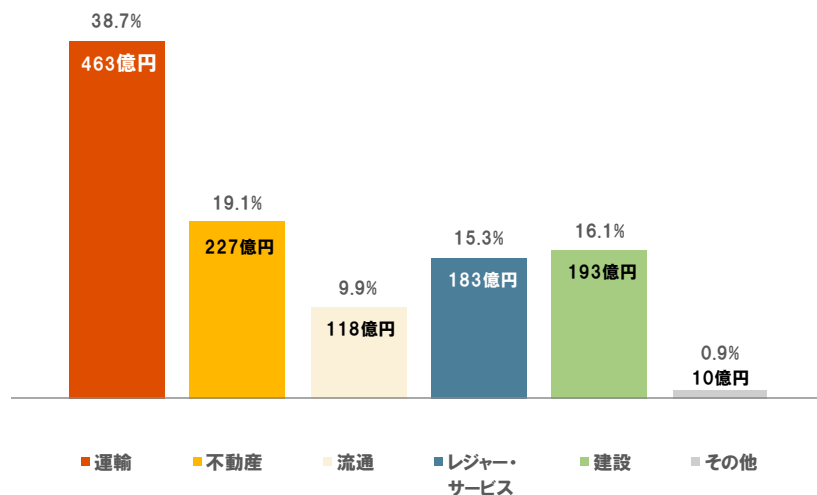
増減(対 2022年3月末) 連結子会社の増加 1社(会社分割) : 南海システムソリューションズ株式会社
 連結子会社の減少 2社(グループ内合併) : 南海ウイングバス金岡株式会社、ライフコミュニティ株式会社
 非連結子会社の増加 1社(新規設立) : eスタジアム株式会社



※当社は運輸業、不動産業、流通業、レジャー・サービス業に、泉北高速鉄道株式会社は運輸業と不動産業に重複して含まれております。

【セグメント別営業収益】

【セグメント別営業利益】

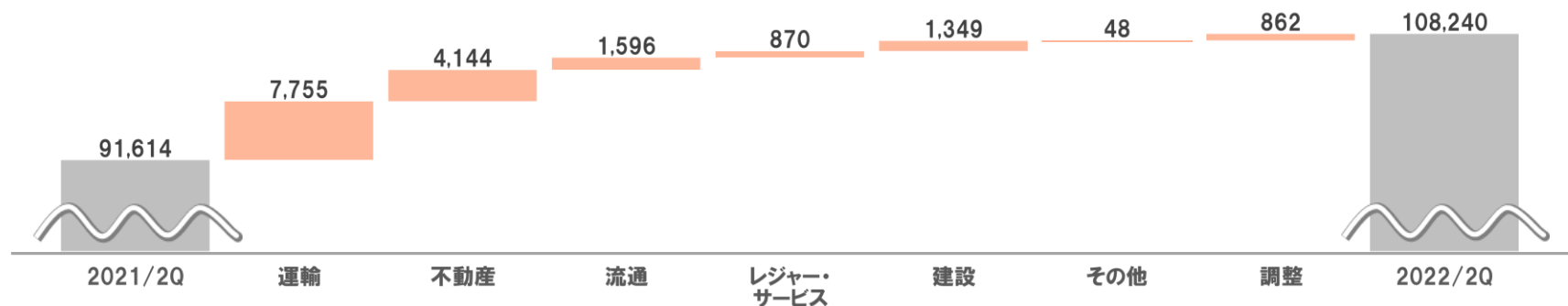


※ 構成比:セグメント間取引を含む営業収益に対する比率

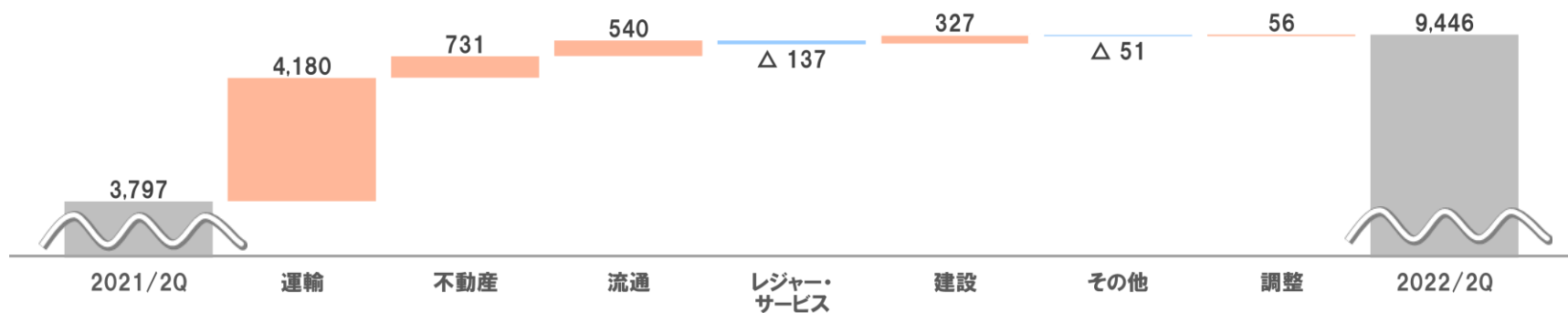
セグメント別営業収益・営業利益

① 営業収益の増減額（対2021/2Q比較）

（単位：百万円）



② 営業利益の増減額（対2021/2Q比較）



セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

	営業収益				営業利益			
	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
運 輸 業	46,335	38,580	7,755	20.1%	△ 885	△ 5,065	4,180	—
不 動 産 業	22,794	18,650	4,144	22.2%	6,657	5,926	731	12.3%
流 通 業	11,824	10,228	1,596	15.6%	925	384	540	140.6%
レジャー・ サービス業	18,312	17,442	870	5.0%	1,624	1,762	△ 137	△ 7.8%
建 設 業	19,319	17,970	1,349	7.5%	980	652	327	50.3%
その他の事業	1,080	1,032	48	4.7%	△ 49	2	△ 51	—
調 整 額	△ 11,427	△ 12,290	—	—	192	136	—	—
合 計	108,240	91,614	16,626	18.1%	9,446	3,797	5,649	148.8%

‘なんかいいね’があふれてる

セグメント情報(運輸業)

(単位:百万円)

運輸業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	46,335	38,580	7,755	20.1%
鉄道事業	26,500	22,908	3,592	15.7%
バス事業	8,982	7,719	1,262	16.4%
その他の運輸業	13,870	10,915	2,955	27.1%
調整額(セグメント内)	△ 3,018	△ 2,963	—	—
営業利益	△ 885	△ 5,065	4,180	—
主な内訳				
鉄道事業	△ 400	△ 3,326	2,926	—
バス事業	△ 790	△ 1,601	810	—

<主な増減理由>

・鉄道事業やバス事業において前年同期と比べ輸送人員が増加したことや貨物運送業における増収等により増収、損益改善

鉄道旅客収入及び輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

全線			2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	12,339	9,231	3,108	33.7%
	定期		9,572	9,299	273	2.9%
	合	計	21,912	18,530	3,381	18.2%
輸送人員	定期	外	38,331	29,983	8,348	27.8%
	定期		61,958	58,970	2,988	5.1%
	合	計	100,289	88,953	11,336	12.7%

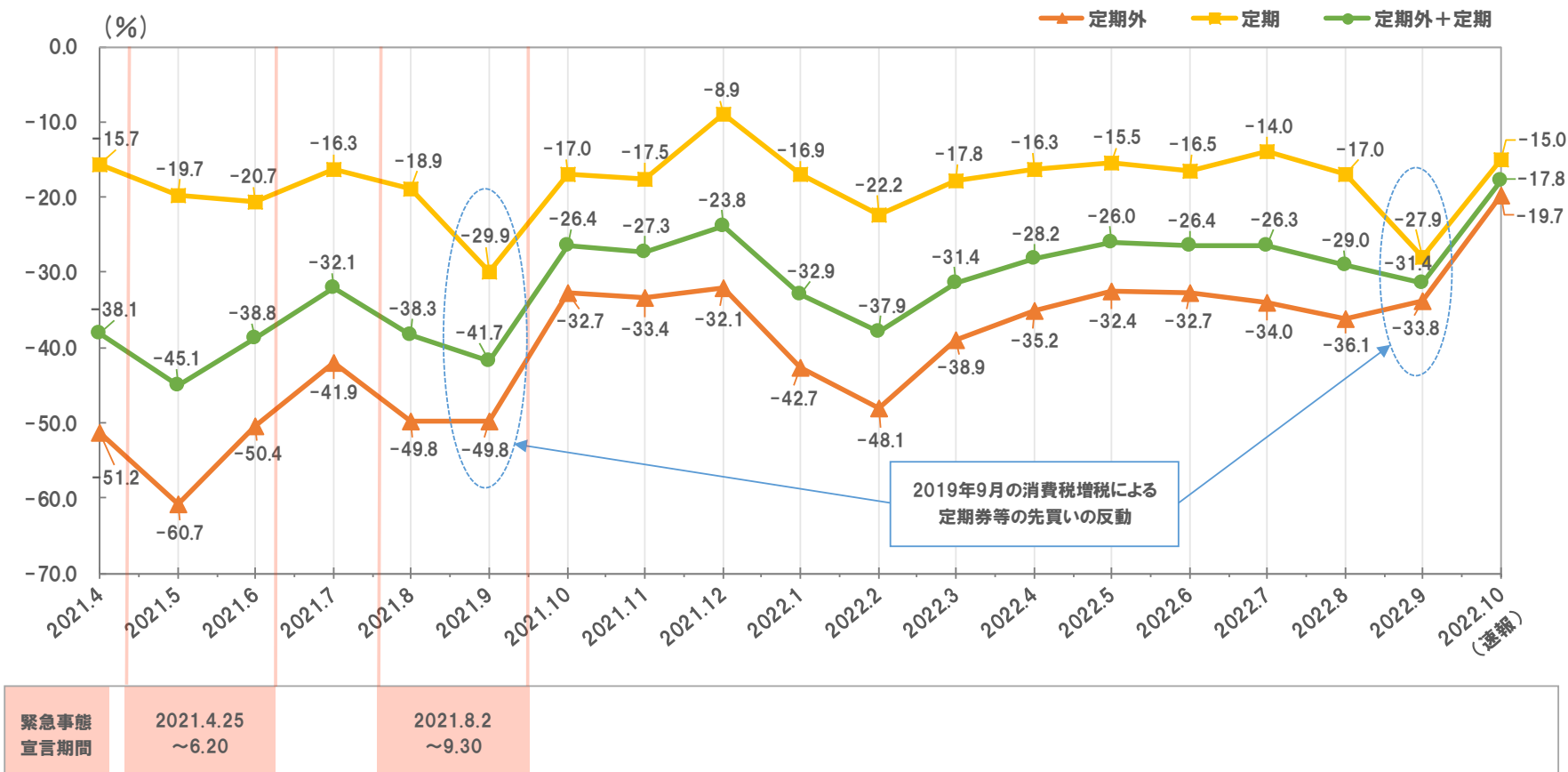
(単位:百万円・千人)

空港線			2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減	増減率
旅客収入	定期	外	1,604	933	670	71.8%
	定期		421	385	36	9.5%
	合	計	2,025	1,318	707	53.6%
輸送人員	定期	外	2,230	1,381	849	61.5%
	定期		1,443	1,300	143	11.0%
	合	計	3,673	2,681	992	37.0%

‘なんかいいね’があふれてる

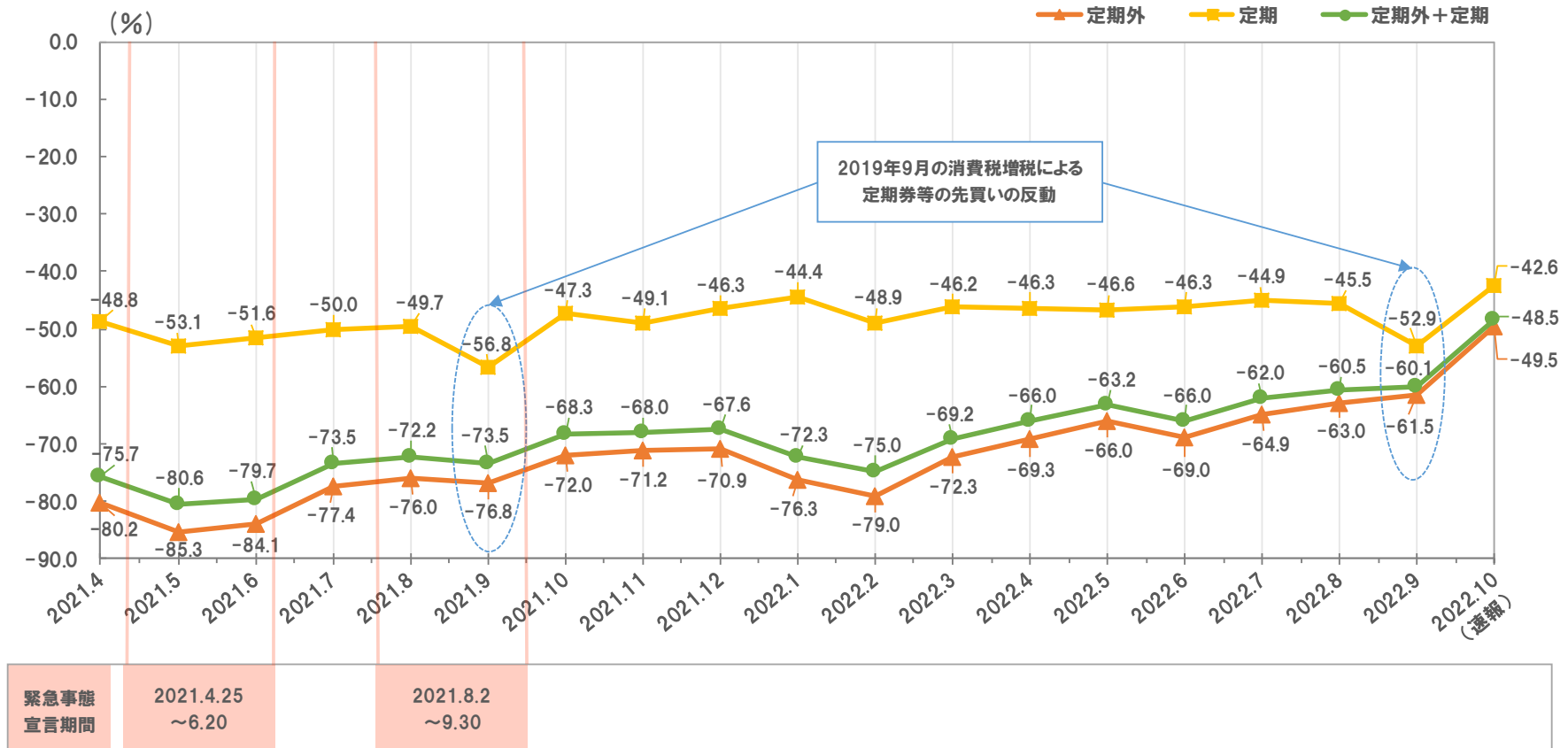
セグメント情報(運輸業)

【参考1】(個別－全線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



セグメント情報(運輸業)

【参考2】(個別-空港線)鉄道旅客収入 2019年同月比増減率の推移



セグメント情報(不動産業)

(単位:百万円)

不動産業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	22,794	18,650	4,144	22.2%
不動産賃貸業	16,782	16,149	633	3.9%
不動産販売業	6,166	2,706	3,459	127.8%
調整額(セグメント内)	△ 154	△ 205	—	—
営業利益	6,657	5,926	731	12.3%
主な内訳				
不動産賃貸業	6,185	5,984	201	3.4%
不動産販売業	549	21	527	—

<主な増減理由>

- ・不動産賃貸業は、前年同期における緊急事態宣言発出の反動によるホテル賃貸料収入の増加等により増収増益
- ・不動産販売業は、マンション販売の増加等により増収増益

セグメント情報(流通業)

(単位:百万円)

流通業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	11,824	10,228	1,596	15.6%
ショッピングセンターの経営	6,788	5,494	1,293	23.5%
駅ビジネス事業	5,661	5,231	430	8.2%
その他の流通業	260	315	△ 54	△ 17.4%
調整額(セグメント内)	△ 886	△ 813	—	—
営業利益	925	384	540	140.6%
主な内訳				
ショッピングセンターの経営	482	171	310	181.2%
駅ビジネス事業	488	243	245	100.8%

<主な増減理由>

・ショッピングセンターの経営において、前年同期に緊急事態宣言の発出に伴い商業施設(なんばパークス、なんばCITY等)を臨時休館したことの反動等により増収増益

セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位:百万円)

レジャー・サービス業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	18,312	17,442	870	5.0%
ビル管理メンテナンス業	10,504	10,675	△ 170	△ 1.6%
その他のレジャー・サービス業	8,739	7,683	1,056	13.7%
調整額(セグメント内)	△ 931	△ 915	—	—
営業利益	1,624	1,762	△ 137	△ 7.8%
主な内訳 ビル管理メンテナンス業	300	513	△ 213	△ 41.5%

<主な増減理由>

- ・ビル管理メンテナンス業は、ビルメンテナンス収入の減少等により減収減益
- ・その他のレジャー・サービス業は、旅行業やポートレース施設賃貸業において新型コロナウイルス感染症の影響が前年同期と比べ縮小したこと等により増収増益

セグメント情報(建設業 / その他の事業)

(単位:百万円)

建設業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	19,319	17,970	1,349	7.5%
建設業	19,320	17,980	1,340	7.5%
調整額(セグメント内)	△ 0	△ 10	—	—
営業利益	980	652	327	50.3%

<主な増減理由> 完成工事高の増加等により増収、利益率の改善等もあり増益

(単位:百万円)

その他の事業	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	増減率
営業収益	1,080	1,032	48	4.7%
その他の事業	1,092	1,036	56	5.4%
調整額(セグメント内)	△ 12	△ 4	—	—
営業利益	△ 49	2	△ 51	—

<主な増減理由> システム収入の増加等により増収、利益率の低下等により減益

営業外・特別損益の状況

(単位:百万円)

	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	摘要
営業外収益	854	934	△ 79	
受取利息	13	12	1	
受取配当金	524	397	126	
雑収入	316	524	△ 207	
営業外費用	2,085	2,213	△ 128	
支払利息	1,798	1,958	△ 160	
雑支出	286	254	32	
特別利益	390	23,593	△ 23,202	
補助金	195	84	110	
工事負担金等受入額	178	22,741	△ 22,562	前期:高石市内連続立体交差化工事(上り線)他
その他	16	767	△ 750	前期:大規模施設等協力金 他
特別損失	593	23,748	△ 23,154	
関係会社整理損	197	—	197	
工事負担金等圧縮額	158	22,737	△ 22,579	前期:高石市内連続立体交差化工事(上り線)他
その他	237	1,010	△ 772	前期:商業施設臨時休館期間にかかる固定費 他

資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2022/2Q末	2021年度末	増減額	主な増減理由
流動資産	79,337	85,147	△ 5,809	●流動資産 ・現金及び預金の減少 △48億円
固定資産	835,022	835,829	△ 807	●固定資産 ・減価償却に伴う建物及び構築物の減少 △79億円 ・投資有価証券の減少 △ 9億円 ・建設仮勘定の増加 +90億円
資産合計	914,359	920,976	△ 6,617	●負債 ・支払手形及び買掛金の減少 △35億円
負債合計	650,372	660,260	△ 9,888	【有利子負債残高】 (単位:億円)
純資産	263,987	260,716	3,271	●純資産 ・親会社株主に帰属する四半期純利益 +71億円 ・剰余金の配当 △28億円 ・その他有価証券評価差額金の減少 △ 7億円
負債純資産合計	914,359	920,976	△ 6,617	

	2022/2Q末	2021年度末	増減額
有利子負債	4,776	4,824	△ 48
純有利子負債	4,460	4,460	0

キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2022/2Q 実績	2021/2Q 実績	増減額	主な増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	15,371	13,524	1,846	<ul style="list-style-type: none"> ●営業活動によるキャッシュ・フロー ・税金等調整前四半期純利益 + 56億円 ・仕入債務の増減 + 35億円 ・棚卸資産の増減 + 21億円 ・売上債権の増減 △ 62億円 ・法人税等の支払額又は還付額 △ 23億円
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 11,852	△ 5,835	△ 6,017	<ul style="list-style-type: none"> ●投資活動によるキャッシュ・フロー ・固定資産の取得による支出 △ 68億円 ・工事負担金等受入による収入 + 11億円
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 7,909	△ 17,322	9,412	<ul style="list-style-type: none"> ●財務活動によるキャッシュ・フロー ・有利子負債増減額 + 95億円 ○当期 借入金 △118億円 コマーシャル・ペーパー + 70億円 ○前期 借入金 △144億円
現金及び現金 同等物の期末残高	31,710	31,284	425	

II. 2022年度 通期業績予想

業績予想策定の前提条件

●修正予想における収入は、以下の前提に基づいて算定

【当社鉄道線】 コロナ影響を控除した平年ベースからの減少率

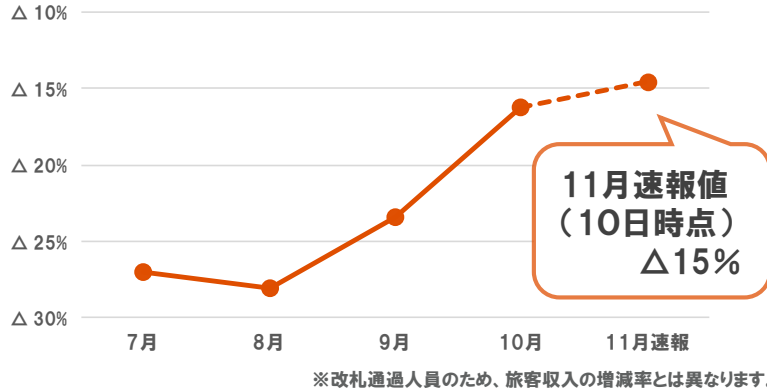
	2022年度			
	1Q 実績	2Q 実績	3Q 修正予想	4Q 修正予想
定期外(既設線)	△ 22%	△ 25%	△ 17%	△ 13%
	(△ 15%)		(△ 15%)	
定期外(空港線)	△ 68%	△ 63%	△ 45%	△ 35%
	(△ 70%)		(△ 50%)	
定期(既設線)	△ 14%	△ 18%	△ 10%	△ 10%
	(△ 10%)		(△ 10%)	
定期(空港線)	△ 46%	△ 48%	△ 30%	△ 20%
	(△ 30%)		(△ 20%)	

※ 下段()は期初予想(2022年4月公表)

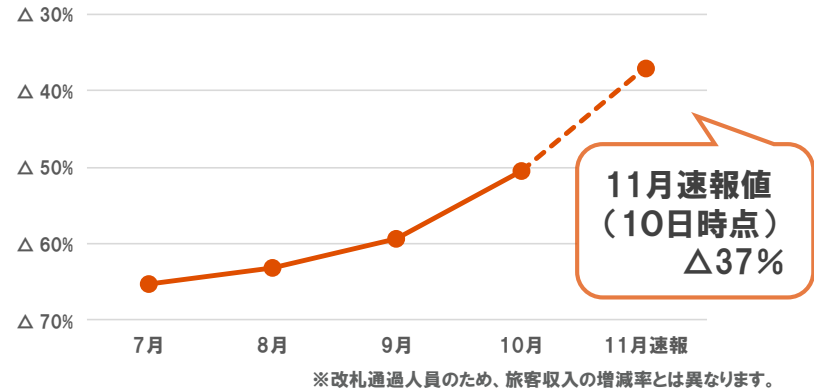
足元の状況

【(個別)鉄道改札通過人員 2019年同期比増減率の推移】

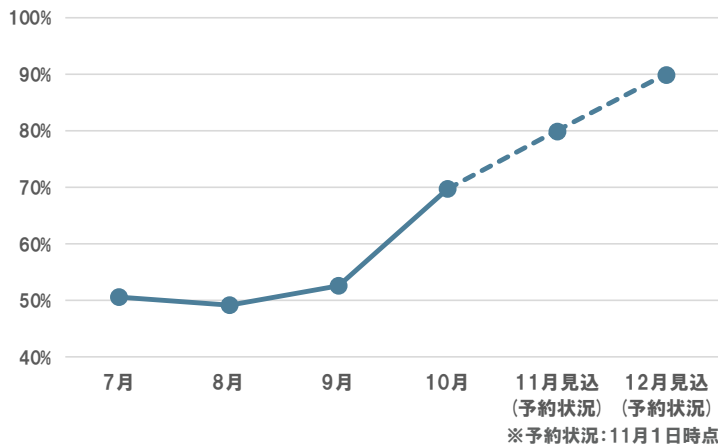
① 全線・定期外



② 関西空港駅・定期外



【フレイザーレジデンス南海大阪 稼働率の推移】



●(個別)鉄道改札通過人員 2019年同期比増減率
新型コロナウイルスの水際対策の緩和や、国内の旅行支援開始に伴い、空港線(定期外)を中心に利用者数が回復基調で推移

●フレイザーレジデンス南海大阪稼働率
10月以降の稼働率が上昇し、足元の予約状況では、12月の稼働率が約90%となる見込

▶概ね修正予想の想定に近い状況で推移

‘なんかいいね’があふれてる

業績ハイライト

(単位:百万円)

	2022年度			主な増減要因	2021年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
	修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
営業収益	227,300	227,100	200	<ul style="list-style-type: none"> ●営業収益 貨物運送業において増収の一方、 レジャー・サービス業の減収もあり 期初予想並みと見込む ●営業利益 費用節減に伴う収支改善もあり増益 ●親会社株主に帰属する当期純利益 経常増益及び税金費用の減少に伴う 増益 ●投資額 投資時期の見直し等による減少 ●有利子負債残高 投資額の減少等に伴い減少 	201,793	25,506
営業利益	17,000	16,300	700		12,190	4,809
経常利益	14,400	13,200	1,200		9,931	4,468
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,100	7,800	2,300		4,021	6,078
投資額	42,800	47,700	△ 4,900		21,408	21,391
減価償却費	27,800	28,400	△ 600		28,591	△ 791
E B I T D A ※	45,700	45,400	300		41,568	4,131
有利子負債残高	479,700	482,600	△ 2,900		482,487	△ 2,787
純有利子負債残高	455,500	458,900	△ 3,400		446,017	9,482
有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	10.5倍	10.6倍	△ 0.1pt		11.6倍	△ 1.1pt
純有利子負債残高 / E B I T D A ※ 倍率	10.0倍	10.1倍	△ 0.1pt	10.7倍	△ 0.7pt	

‘なんかいいね’があふれてる



※ 営業利益 + 受取配当金 + 減価償却費

セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2022年度			主な増減要因	2021年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
運 輸 業	営業収益	96,800	95,800	1,000	・貨物運送業+18億円 輸送運賃高騰 ・鉄道事業△10億円 既設線△12億円、空港線+5億円	83,371	13,428
	営業利益	200	△ 300	500	・バス事業+5億円 人件費の減 貸切収入減による燃料使用数量の減	△ 7,382	7,582
不 動 産 業	営業収益	44,600	44,000	600	・不動産賃貸業+4億円 水光熱収入の増 ・不動産販売業+2億円	45,598	△ 998
	営業利益	11,100	10,900	200	・不動産賃貸業+2億円	12,577	△ 1,477
流 通 業	営業収益	23,400	23,600	△ 200	・駅ビジネス事業△2億円	21,965	1,434
	営業利益	800	1,200	△ 400	・駅ビジネス事業△2億円 ・SC経営△2億円	1,144	△ 344

‘なんかいいね’があふれてる

セグメント別営業収益・営業利益

(単位:百万円)

		2022年度			主な増減要因	2021年度 実績 (C)	増減額 (A-C)
		修正予想 (A)	期初予想 (B)	増減額 (A-B)			
レジャー・ サービス業	営業収益	39,700	41,700	△ 2,000	・ビル管理メンテナンス業△8億円 ビルメンテナンス収入の減 ・その他△9億円 旅行業△5億円	38,241	1,458
	営業利益	2,800	2,400	400	・旅行業+2億円	3,834	△ 1,034
建設業	営業収益	47,700	47,800	△ 100	完成工事高の減	38,121	9,578
	営業利益	2,100	2,100	—		1,959	140
その他の 事業	営業収益	2,900	2,600	300		2,653	246
	営業利益	100	100	—		176	△ 76
調整額	営業収益	△ 27,800	△ 28,400	—		△ 28,159	—
	営業利益	△ 100	△ 100	—		△ 120	—
合計	営業収益	227,300	227,100	200		201,793	25,506
	営業利益	17,000	16,300	700		12,190	4,809

‘なんかいいね’があふれてる

セグメント別投資額・EBITDA

(単位:百万円)

	投資額			修正予想額 主な内訳	EBITDA ※1		
	2022年度 修正予想 (A)	2022年度 期初予想 (B)	増減額 (A-B)		2022年度 修正予想 (A)	2022年度 期初予想 (B)	増減額 (A-B)
運 輸 業	19,000	21,100	△ 2,100	<収益拡大投資 161億円>	15,600	15,600	—
不 動 産 業	19,300	21,800	△ 2,500	・物流施設高度化 76億円 大阪府食品流通センター E棟建設関連工事他	19,000	18,800	200
流 通 業	2,800	3,300	△ 500	・なんばエリア周辺開発 71億円 <安全・更新投資 232億円>	4,800	5,200	△ 400
レジャー・ サービス業	2,700	2,500	200	・鉄道関連工事 123億円 車両新造、高架橋補強等	4,100	3,800	300
建 設 業	100	100	—	・不動産および 流通施設工事 52億円	2,200	2,200	—
その他の事業	0	0	—	<未来探索投資 46億円>	100	100	—
調 整 額	△ 1,100	△ 1,100	—	・eスポーツ事業 8億円	※2 △ 100	※2 △ 300	—
合 計	42,800	47,700	△ 4,900		45,700	45,400	300

※1 営業利益+受取配当金+減価償却費

※2 EBITDAの調整額はセグメント間取引消去と受取配当金の合計額であります。

運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表(個別)

(単位:百万円・千人)

全線		2022年度 修正予想	対前期 増減率	2022年度 期初予想	対前期 増減率	2021年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	27,162	32.3%	27,463	33.7%	20,538	10.8%
	定期	19,699	6.5%	20,103	8.7%	18,495	△ 0.3%
	合計	46,861	20.1%	47,566	21.9%	39,033	5.2%
輸送人員	定期外	82,201	24.6%	84,391	27.9%	65,964	8.7%
	定期	126,515	8.2%	126,855	8.5%	116,887	△ 0.5%
	合計	208,716	14.1%	211,246	15.5%	182,851	2.6%

(単位:百万円・千人)

空港線		2022年度 修正予想	対前期 増減率	2022年度 期初予想	対前期 増減率	2021年度 実績	対前期 増減率
旅客収入	定期外	4,527	105.4%	3,880	76.1%	2,203	30.7%
	定期	1,018	30.5%	1,162	49.0%	780	△ 6.9%
	合計	5,545	85.8%	5,043	69.0%	2,984	18.2%
輸送人員	定期外	6,377	99.7%	5,516	72.7%	3,194	24.1%
	定期	3,445	30.9%	3,909	48.6%	2,631	2.4%
	合計	9,822	68.6%	9,425	61.8%	5,825	13.2%

‘なんかいいね’があふれてる

III. 中期経営計画「共創140計画」の 進捗状況

経営環境の認識

- 2022年度上半期の業績は、概ね順調に推移
- 新型コロナウイルスの水際対策の緩和や国内の旅行支援開始
→本格的な回復に向けた動きに繋がっていく期待

<旅行需要の回復状況>

関西国際空港(国際線)
定期旅客便※
週あたり便数: **222便**
(2022/10/16~22)

インバウンド旅客用乗車券
(NAMBA Access Rapi:t Ticket)
1日あたり販売数: **10枚台**
(全国旅行支援開始前:9/13~10/10平均)

フレイザーレジデンス南海大阪
(当社なんばエリア所有ホテル)
稼働率: **約40%**
(2022年4月)

関西国際空港(国際線)
定期旅客便※
週あたり便数: **466便**
(2023/3/5~11想定)

インバウンド旅客用乗車券
(NAMBA Access Rapi:t Ticket)
1日あたり販売数: **700枚台**
(全国旅行支援開始後:10/11~11/7平均)

フレイザーレジデンス南海大阪
(当社なんばエリア所有ホテル)
11/1時点予約率: **約90%**
(2022年12月)

※ 関西国際空港(国際線)定期旅客便 : 関西エアポート株式会社 ニュースリリースを当社加工

マーケットの回復基調を的確に捉えながら
「共創140計画」の事業戦略と打ち手を迅速に実行

‘なんかいね’があふれてる

中期経営計画「共創140計画」の位置づけ

基本方針

コロナ禍を経ての「再構築」と「成長への基礎構築」を行う期間

- あらゆるステークホルダーとの“**共創の精神**”は不変
- なにわ筋線開業に向けたコア事業の戦略投資を確実に実行
- 未来に向けての成長の基礎を3年間で構築
 - 「安全・更新」投資は、3年間で加速させ確実に実行
 - 「南海グループ経営ビジョン2027」での2つの事業戦略の実行を加速
 - 新たな事業の芽の育成にも十分な投資枠を確保

経営戦略

- 公共交通事業のサステナブルな経営
- 選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大
- 未来への取組み(未来探索)
- 上記を支える、人事/財務戦略推進

2050年

南海の未来
(企業像)

なにわ筋線
開業

南海グループ
経営ビジョン
2027

満足と感動の提供を通じて、
選ばれる沿線、選ばれる企業グループとなる

深展133計画
(2015～2017年度)

共創136計画
(2018～2020年度)

2021年度
経営計画

共創140計画
(2022～2024年度)

次期中期
経営計画
(2025年度～)

‘なんかいね’があふれてる

「共創140計画」の主な事業戦略

1.公共交通事業の持続可能な経営 [設備投資:520億円]



- ・安全対策・災害対策の計画的な推進
- ・デジタルテクノロジー活用:新しい技術・枠組みの構築と予防保全の充実
- ・収益力の強化、ブランド・サービスの向上
- ・新たなサービス - 総合モビリティ事業への進化

2.選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大 [設備投資:930億円]



- ・地域共創型まちづくり
- ・“グレーターなんば”構想の加速 - “アジアのなんば”へ
- ・泉北ニュータウンの持続可能なまちづくり
- ・物流施設の高度化
- ・私募リート設立

3.未来探索 [設備投資:150億円]



- ・DX戦略 - デジタル顧客接点の構築と新価値創造
- ・新規事業への取組み加速
- ・外国人との共生
- ・ツーリズム関連事業の強化
- ・ニューノーマルでの新たなサービス提供

共創140計画 事業戦略毎の進捗状況

① 公共交通事業のサステナブルな経営

戦略打ち手	2022年度 →これまでの具体的な取り組み:p48~50参照	2023年度	2024年度
1 安全対策・災害対策 の計画的な推進	<p>連続立体交差事業(高石市内、堺市内)/車両内防犯カメラ設置/山岳区間における斜面防災対策 高架橋・駅施設等の耐震補強工事/バリアフリー化推進(段差縮小・ホームドア設置)ほか</p> <p>【2022年度内実施施策】 ・車両側面カメラの試験的設置(6月~) ・車内防犯カメラの試験的設置(10月~) ・高野線大和川橋梁に橋梁異状を検知するシステム導入(予定)</p>		<p>・中百舌鳥駅4番線 ホームドア設置 (2024.4予定)</p>
2 デジタルテクノロジー 活用	<p>ワンマン運転の拡充検討(2024年度目標:南海本線一部区間への拡大)</p> <p>自動運転の実証実験準備 (ハード面の整備、システムに係わる検討・安全性評価)</p>	<p>試運転車両を用いた実証実験 →第三者委員会による検討・評価</p> <p>・「駅総合案内センター」新設 (2023年度内実施予定)</p>	
3 収益力の強化、 ブランド・サービスの 向上	<p>車両更新/駅施設・駅トイレの美装化</p> <p>【中百舌鳥駅リニューアル】 改札口の移設→コンコース店舗面積拡大・リニューアル/駅内外の美装化 (2022.9)</p> <p>Visaのタッチ決済実証実験(～12月)</p>	<p>運賃改定申請(2022.10)/準備</p>	<p>運賃改定(2023.10予定)</p>
4 新たなサービス	<p>陸海空の輸送手段検討/MaaSの取り組み推進</p> <p>【空飛ぶクルマ】 ・株式会社SkyDriveとの連携協定を締結(2022.4) ・丸紅株式会社ほか3社と大阪府「空飛ぶクルマ都市型ビジネス創造都市推進 事業補助金」を活用した実証事業に参画(2022.12~2023.1)</p>	<p>・(仮称)関西MaaSアプリ第1弾リリース (2023年夏予定)</p>	

‘なんかいいね’があふれる

共創140計画 事業戦略毎の進捗状況

② 選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大

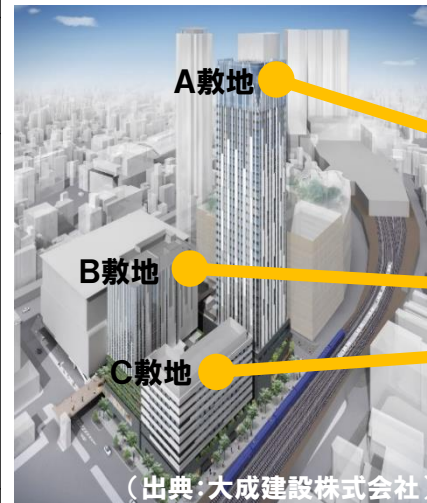
戦略打ち手	2022年度 →これまでの具体的な取り組み:p48~50参照	2023年度	2024年度
1 地域共創型まちづくり	地域活性化施策の実施(沿線価値向上プロジェクト) 【重点課題と施策】 ・産業振興/起業支援: 沿線企業の魅力向上・発信に取り組む「アトツギ・オープンファクトリー・採用支援」 ・リノベーションまちづくり: 新たなまちのコンテンツ創出につなげる「リノベーションスクール@加太線」 ・子育て/教育: 子育て世代にとって「子育てするのが楽しいまち」を築き上げていくプロジェクト「家族にえがお+1」		
2 “グレーターなんば” 構想の加速	難波中二丁目開発計画 工事、開業準備 なんば駅前広場整備(2023年秋完成予定) 恵美須町土地開発計画 物件取得/所有物件の開発/既存物件の刷新	2023年夏 完成予定 シェアスタイル 企業寮開業 2023年秋予定	なんば駅前広場 ~なんさん通り整備 (2024年度末完成予定)
3 泉北ニュータウンの サステナブルなまちづくり	泉ヶ丘駅前活性化計画(新築工事) ※2025年秋開業予定 泉北ニュータウンスマートシティ戦略推進 ・SENBOKUスマートシティ コンソーシアム設立(6月) ⇨ 5つのワーキングごとに 取り組みを推進		
4 物流施設の高度化	E棟高度化工事	E棟開業 (2023.4予定)	2期棟高度化工事 (2025年度開業予定)
5 私募リート設立	AM会社設立 (2022.10)	許認可に必要な手続きを進め、 投資法人の設立、早期運用開始を目指す	

【参考】難波中二丁目開発計画の進捗状況

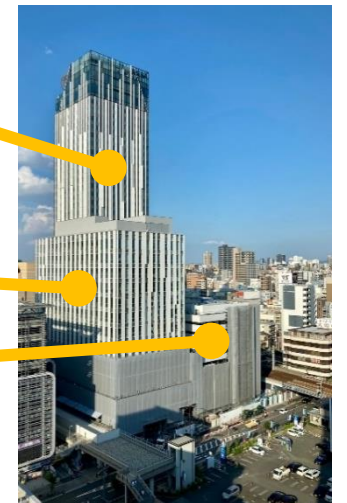
- A・B・C敷地いずれも順調に工事が進捗、2022年度内に竣工予定
- なんばに新たな機能を強化し、なんばパークス以南への人流増加を期待

	A敷地	B敷地	C敷地
	センタラグランド ホテル大阪	(仮称) 難波中 二丁目オフィス	ホテル京阪 なんばグランデ
現況			
用途	ホテル、店舗	オフィス、店舗、 駐車場	ホテル、店舗、 駐車場
敷地面積	4,404㎡	2,506㎡	2,005㎡
延床面積	39,175㎡	19,685㎡	9,337㎡
開業時期	2023年夏	2023年夏	2023年春
当社の 関与方	・サブリース (土地の転賃)	・SPCへの出資 ・開発業務の受託 ・サブリース (土地の転賃)	・建物の建設 ・ホテル事業者への 賃貸 (共同事業)

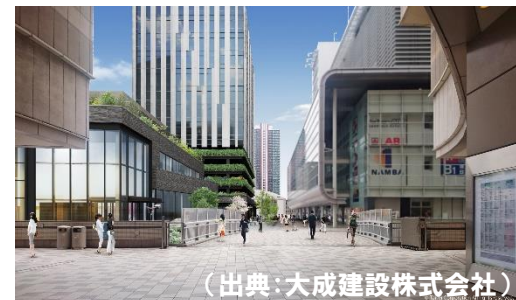
鳥瞰パース



現況(2022年10月撮影)



ペDESTリアンデッキの完成イメージ

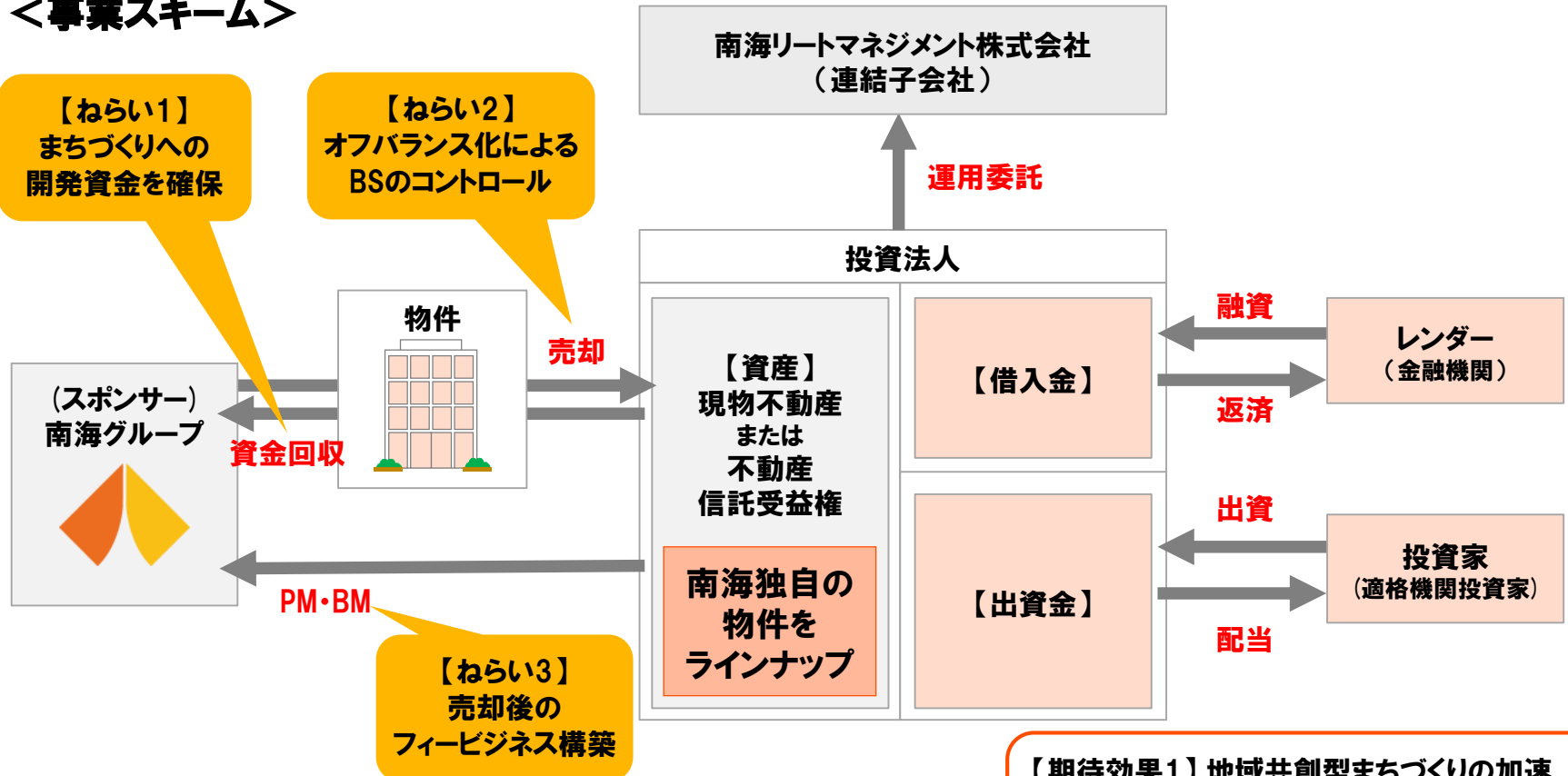


‘なんかいね’があふれてる

【参考】私募リートの進捗状況

- 2022年10月にAM会社「南海リートマネジメント株式会社」を設立
- 今後は許認可に必要な手続きを進め、投資法人の設立、早期運用開始を目指す

<事業スキーム>



共創140計画 事業戦略毎の進捗状況

③ 未来探索

戦略打ち手	2022年度 →これまでの具体的な取り組み:p48~50参照	2023年度	2024年度
1 DX戦略	デジタル顧客接点の拡充で暮らしやすさ向上/地域の人々と多彩なサービスをつなぐポータルサイト構築 ・データ利活用基盤の整備 ・飲食店などの食事をオンラインで注文し、駅で受け取れるサービス「ピクレル」をスカイオワーカー限定で実証(2022.7)		
2 新規事業への 取り組み加速	eスポーツ事業への本格参入 ・eスタジアム株式会社設立、事業開始(2022.6) 【行政受託】 泉佐野市「eスポーツMICE実証事業」採択 【施設運営】 eスタジアムいずみ開業、eスタジアム泉佐野開業(予定) 【イベント】 eスポーツキャンプ開催、eスポーツキャンプPlus+実施(予定)		
	新規事業開発プログラム「Fly beyond」による事業創出 ・3法人が経済産業省の「大企業人材等新規事業創出支援事業費補助金」(出向起業等創出支援事業)に2年連続採択		
3 外国人との共生	ハード/ソフトの両面で外国人とともにサステナブルなまちづくりを推進 ＜ハード面＞ 新今宮に所有する当社施設内に学生寮を誘致 ＜ソフト面＞ 海外IT人材紹介事業「Japal」の本格事業化(2022.11～)		
4 ツーリズム関連事業 の強化	観光コンテンツの拡充/PRによる旅客誘致推進/旅行商品の造成/新たなマネタイズ方式の確立 ・高付加価値旅行商品(高野山での特別体験)の提供開始(2022.7～) ・シェアモビリティサービス「NK PEDAL」開始(2022.8～)		
5 ニューノーマルでの 新たなサービス提供	新しいライフスタイルサービスの創出 【実施施策の一例】 ・列車走行位置、駅情報だけでなくトイレの空き状況や席ゆずりあいアシストを実装する「南海アプリ」 ・多様な利用スタイルに対応したシェアオフィス「Liefcice By NANKAI」 ・日本初のQRコードを用いた乗車券と特急券のセット販売「ラビートデジタルきっぷ」		

※「QRコード」:株式会社デンソーウェーブの登録商標

トピックス-1

運賃改定の申請について

鉄道線旅客運賃の変更認可申請

- 「鉄道事業のサステナビリティを高める安全・安定的な輸送基盤の強化」、
「社会的要請に応えるサービスの高度化」に向け、継続的な設備投資が必要
- 一方、沿線の生産年齢人口の減少、コロナ禍による行動変容の定着等により
鉄道の利用者数は今後もコロナ禍前のレベルへの回復は見込めないと想定
→経営努力だけでは安全・快適な輸送サービスの継続的提供は困難
- 1995年以来28年ぶりとなる運賃改定に向けて申請

申請概要

- ✓ 申請日
2022年10月28日
- ✓ 実施予定時期
2023年10月(予定)
- ✓ 改定率・増収率
平均改定率 10.0%
平均増収率 9.3%
- ✓ 初乗り運賃
160円→180円
1～3kmは20円、4～15kmまでは30円、
16km以降は40円の改定

◆ 改定率・増収率一覧

(%)

	改定率	増収率
定期外	9.0	7.8
定期	11.4	11.1
	通勤	12.0
通学	4.5	4.1
合計	10.0	9.3

◆ その他

- ✓ 難波駅～中百舌鳥駅間の普通運賃に特定運賃を設定
- ✓ 以下の運賃・料金は変更無し
 - ・ 空港線加算運賃
 - ・ りんくうタウン駅～関西空港駅間の特定運賃
 - ・ 鋼索線運賃
 - ・ 特別急行料金、座席指定料金、特別車両料金
 - ・ 定期特別急行料金、定期座席指定料金

‘なんかいね’があふれてる

今後の取り組み

- 「安全・安心・信頼」を大前提としたサステナブルな鉄道輸送を実現し、公共交通機関としての役割を果たす

鉄道事業のサステナビリティを高める 安全・安定的な輸送基盤の強化

- ✓ 連続立体交差事業
- ✓ 踏切道の安全性向上
- ✓ 自然災害対策
- ✓ ホーム上の安全確保
- ✓ 車両防犯対策の強化

オペレーションの合理化・効率化

- ✓ 「駅総合案内センター」新設
- ✓ ワンマン運転の拡充

社会的要請に応える サービスの高度化

- 移動ニーズへの対応
 - ✓ 車両新造・更新
 - ✓ 駅施設のバリアフリー対策
 - ✓ 駅トイレリニューアル
- 沿線価値向上
 - ✓ 中百舌鳥駅リニューアル
 - ✓ 新造観光特急車両の導入
- デジタル技術の実装による
新しい価値の提供
 - ✓ キャッシュレス化推進
 - ✓ 自動運転実証実験
 - ✓ 保守業務のデジタル化

鉄道事業のサステナビリティを高める 安全・安定的な輸送基盤の強化

● 安全対策と災害対策

◆ ホームドア設置

- ・中百舌鳥駅4番線
(2024年春頃予定)
- ・中百舌鳥駅(4番線以外)、
他駅についても設置検討



なんば駅に設置済みの大開口ホーム柵

◆ 危険樹木伐採

- ・樹木医による健全度診断に基づき樹木伐採を実施



危険樹木伐採前



危険樹木伐採後

◆ 車両防犯対策

- ・2022年度中に車内防犯カメラの試験を開始
- ・今後導入する新造車両から順次設置



特急車両のデッキ部に
設置済みの防犯カメラ

◆ 耐震補強工事

- ・今後発生が予測される大規模地震に備えて、
駅舎や高架橋柱などの耐震補強を計画的に実施

【高架橋柱耐震補強進捗率】
(国土交通省令で定められた対象箇所)

94.3%(2022年度末予定)



100%予定(2024年度まで)

粉浜駅～住吉大社駅間
高架橋柱耐震補強工事



社会的要請に応えるサービスの高度化(1)

● 移動ニーズへの対応

◆ 通勤車両の新造・更新

- ・2022年度:6両を導入予定
- ・2025年度までに、高野線6000系の全車両を更新予定



8300系車両



バリアフリー基準を満たした車いすスペース

◆ 駅バリアフリー

- ・移動経路のバリアフリー化
- ・ホーム嵩上げ工事(段差縮小工事)
- ・列車とホームの隙間を埋める隙間縮小工事



内方線付き点状ブロック



なんば駅のホームに設置しているく形ゴム

◆ 駅トイレリニューアル

- ・2022年度:3駅
(泉佐野、箱作、美加の台)
- ・2026年度までに実施予定の9割以上の駅にてリニューアル完了予定



美装化完了後の駅トイレ
(岸和田駅)

‘なんかいね’があふれてる

社会的要請に応えるサービスの高度化(2)

● 沿線価値向上

◆ 駅リニューアル

- ・中百舌鳥駅のリニューアルを推進（2023年度内予定）
- ・2Fコンコースの店舗面積を拡大し、駅コンコースの床面・壁面・天井や駅舎外壁の美装化工事等を実施



中百舌鳥駅美装化後のイメージ
(左)東改札口(右)自由通路

◆ 新たな観光特急車両の導入

- ・2025年度を目標に新たな観光特急車両の導入を計画
- ・高野山へのアクセス手段としてだけでなく、“乗車すること”を目的化していただけるサービスの提供を追求



※写真は現在運行している観光列車「天空」

◆ 新しい利用サービスの拡充

- ・2023年には、PiTaPa・ICOCAでの乗車を対象とした新たなポイントサービスの導入を予定
- ・特急チケットレスサービスのポイントとminapitaポイントを相互に交換できるサービスを検討



PiTaPaカード



ご利用に応じて
minapitaポイント
を付与



ICOCAカード

※「ICOCA」: 西日本旅客鉄道株式会社の登録商標
※「PiTaPa」: 株式会社スルツとKANSAIの登録商標

‘なんかいね’があふれてる

社会的要請に応えるサービスの高度化(3)

● デジタル技術の実装による新しい価値の提供

◆ キャッシュレス化の推進

- ・クレジットカードやQRコードを利用した乗車券で乗車可能な次世代改札機の設置



※「QRコード」:株式会社デンソーウェーブの登録商標

◆ 保守業務のデジタル化

- ・「予防保全」を取り入れた点検保守体制
→ 安全性や効率性を向上
- ・施設点検において、鉄塔や高架下等の点検業務の高精度化、災害現場のリアルタイムの映像の配信にドローンを活用



◆ 自動運転実証実験

- ・自動化レベルGoA2.5(前頭運転台に運転士以外の係員が乗務)による自動運転化の実現を目指し、2023年度には、和歌山港線において試運転車両を用いた実証実験を予定



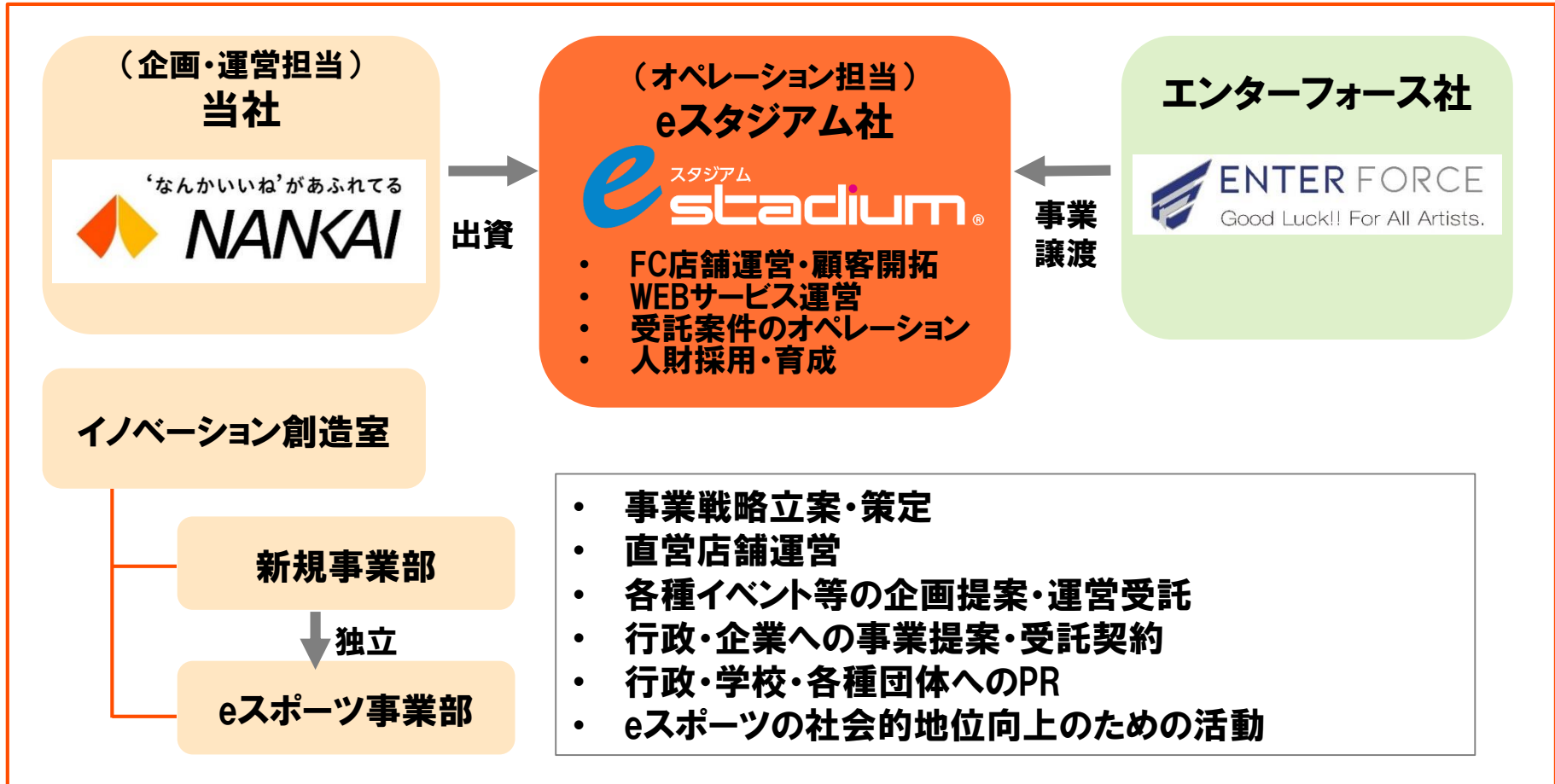
‘なんかいね’があふれてる

トピックス-2

未来探索の進捗ーeスポーツ

eスポーツの事業推進体制

- 当社の新規事業として、迅速な意思決定が可能な事業体制を構築
- 高い専門性と柔軟な人財採用を武器に事業推進



2022年度の取り組み

- 事業展開モデルを構築する1年
- トライアル施設で培ったノウハウ・システムをもって直営・FCの店舗を展開

これまでに自社施設の
「eスタジアムなんば Powered by NANKAI」
で実証実験とノウハウを蓄積



(なんばスカイオ内)

3本の柱で事業を推進

施設運営事業



- ・直営店舗：eスタジアムなんば本店の設置ほか
- ・FC店舗展開、行政受託

大会・イベント事業



- ・自主企画(関西eスポーツ学生選手権 年3回) など

オンラインサービス



- ・eスポーツプレイヤー向けWEBサイト
(施設会員管理、大会・イベントエントリー、物品販売)

※eスポーツが今後メジャーになるためには欠かせない社会課題解決のため、
神戸大学協力のもと、メンタルヘルスに関するセミナーなども開催

事業展開モデル

- 施設運営事業において“行政モデル”と“ショッピングセンターモデル”を構築
→今後、全国展開(他エリアへの展開)に繋げる

行政モデル ～「eスポーツ先進都市・泉佐野市」プロジェクト～

- 当社が事業者の内定(2022年6月)、事業開始(同年7月)



◆プロジェクト第1弾

高校生のeスポーツ合宿「eスポーツキャンプ」開催
(2022年8月22日～25日:3泊4日)



◆プロジェクト第2弾

りんくうタウン駅構外コンコースの
りんくうパピリオ2階に市営のeスポーツ施設開業予定
(2022年11月)

ショッピングセンターモデル ～エコーいずみ～

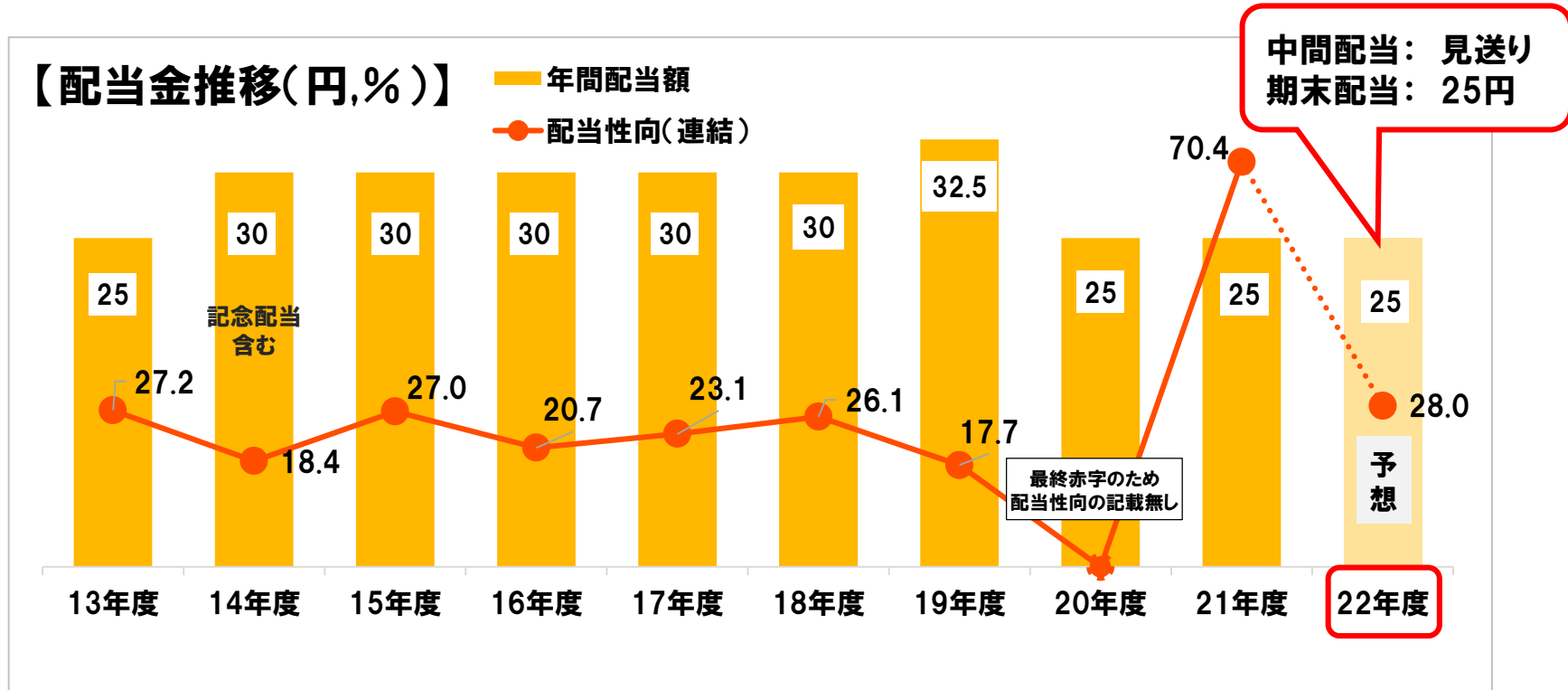


- 全国初のパートナー店舗が開業
- eスタジアム社が開業・運営支援を受託
- (株)関西都市居住サービスが「eスタジアムいずみ」を開業
(2022年9月)

‘なんかいいね’があふれてる

株主還元

- 長期にわたる安定的な経営基盤の確保と財務体質の強化に努めつつ、収益のさらなる向上を図ることにより、安定的な配当原資を確保する
- 今後も、経営環境/業績の動向/設備投資その他の投資機会等の要素を広く総合的に考慮し、安定的な配当を継続する



※2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施
 ※2017年度以前は株式併合後ベースに換算した配当額(年間)を記載

Appendix

【参考】2022年度 主な取り組み(1)

日付	内容	開示資料URL
4/7	SkyDriveと南海電鉄が「空飛ぶクルマ」運航を目指し連携協定締結 ～大阪エリア、和歌山エリアでの「空飛ぶクルマ」活用を目指します～	URL
4/15	万博、IR、なにわ筋線を見据えて、難波エリアを国際的な観光都市に“エンタメ”と“ステイ”の力で都市格を高めるビジョン ～万博開催時のまちなかフェスティバル、なにわ筋線新駅周辺での拠点形成等を提案～	URL
5/25	2022年6月1日(水)から、新会社「eスタジアム株式会社」スタート! ～新会社は、南海電鉄から運営委託を受け、eスポーツ事業を一層推進していきます～	URL
6/9	「『親子でわくわく体験!南海沿線』～やってみたい!を育てよう～」開催、 子育て世代向けホームページ「なんかいくらし」を開設	URL
6/13	高付加価値旅行商品の提供開始!高野山での特別体験や宿泊プランをお届けします ～総本山金剛峯寺での演劇による没入型体験(初回7月17日)～	URL
6/14	泉佐野市が募集するプロポーザル実施予定者に採択決定! 「eスポーツ先進都市・泉佐野市」の確立を目指します。	URL
6/16	和歌山港線における『自動運転実証試験』に向けて事前準備を2022年7月から順次進めてまいります	URL
6/28	当社等で構成するSENBOKUスマートシティコンソーシアム準備会が 『SENBOKUスマートシティコンソーシアム』を設立	URL
7/19	8月22日から25日にかけて泉佐野市にて開催!全国の高校生を対象にしたゲーム合宿「eスポーツキャンプ」に人気ストリーマー『Jasper』などの新ゲスト来場が決定!	URL

- 公共交通のサステナブルな経営
- 選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大
- 未来探索

【参考】2022年度 主な取り組み(2)

日付	内容	開示資料URL
7/20	高野山駅と加太駅(和歌山県)でシェアモビリティサービス「NK PEDAL(エヌケーペダル)」を8月1日から開始	URL
7/22	新規事業開発プログラム発LAWN、EMOSHAREが経済産業省の「大企業人材等新規事業創造支援事業費補助金」(出向起業等創出支援事業)に、今年度も採択されました	URL
8/4	～より使いやすく、より南海らしく～公式ウェブサイトを8月4日からリニューアルオープン!	URL
8/5	“特急券付き”デジタルきっぷは今回が初!“ラビートデジタルきっぷ”を8月8日から発売開始!	URL
8/17	「リノベーションスクール@加太線」の開催に先立ち、2022年9月10日(土)、まちづくり講演会@加太線「わたしごとの楽しい郊外暮らし～得意なことからはじめる小さな商い」を開催	URL
8/18	「渋谷フクラス」が高野山に染まる10日間(8月26日～9月4日) 「大人の休息 旅する高野山 in Shibuya」開催	URL
8/24	中百舌鳥駅4番線のホームドア設置工事を開始します～2024年4月ごろ運用開始～	URL
8/24	～中百舌鳥駅のリニューアル工事進行中～9月17日(土)始発から東改札口の供用を開始します。 続いて、コンコースの店舗面積を約3倍に拡大し、駅的美装化を実施!	URL
8/25	～「eスポーツ先進都市・泉佐野市」の確立を目指して～ 「eスタジアム泉佐野」の開業など、3大施策を実施!	URL
8/25	【なんば駅周辺における空間再編推進事業】 11月8日(火)から、なんば駅前広場周辺を車両通行止めになります	URL

- 公共交通のサステナブルな経営
- 選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大
- 未来探索

【参考】2022年度 主な取り組み(3)

日付	内容	開示資料URL
9/7	～全国初のパートナー店舗！～9月16日「eスタジアムいずみ」を開業します！	URL
9/16	「KiiPass Koyasan (キーパス高野山)」事業の一環として「高野山デジタルきっぷ」を9月27日から発売します！泉北高速鉄道ではQRコードを利用した「デジタルきっぷ」の発売は初！	URL
9/28	南海グループとセブン-イレブン・ジャパン、コンビニエンスストアのフランチャイズ化に関する業務提携契約を締結 ～駅構内のコンビニエンスストアをセブン-イレブンに転換～	URL
10/6	10月27日(木)「泉ヶ丘から関空へ！日帰り体験モビリティ」を開催 【シニア向け・無料】水素バス乗車体験や小型モビリティ試乗体験、安全運転イベントツアー開催	URL
10/19	臨時列車による「サイクルトレイン」の実証実験を実施します	URL
10/24	HYBE JAPANが日本初開催する『THE CITY』プロジェクトとコラボレーション 特急ラピートやなんば駅を、世界的人気のK-POPグループ「SEVENTEEN」が“太陽のように”彩る！	URL
10/25	通勤車両への防犯カメラ設置に向けた試験の実施について～2022年10月29日(土)から～	URL
10/28	鉄道線旅客運賃の変更認可申請を行いました	URL
11/1	南海電鉄が海外IT人材紹介サービス「Japal」を南海不動産から事業譲受	URL
11/7	「空飛ぶクルマが叶える“未来型旅行体験”モニターツアー」の実施について ～11月10日(木)から募集開始！～	URL
11/8	関西・鉄道7社共同によるMaaSの構築について ～国内初の鉄道事業者連携による広域型MaaSを関西一円で展開～	URL

- 公共交通のサステナブルな経営
- 選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大
- 未来探索

【参考】共創140計画 数値目標

- 営業利益・純有利子負債残高/EBITDA倍率をともに改善させ、将来の成長に向けた財務基盤の整備に取り組む
- CO2排出量についても、2030年度に向けて計画的に削減を図る

計画の最終年度にあたる2024年度の数値目標(連結ベース)は以下のとおり

営業利益 ^{※1}	280億円
純有利子負債残高/EBITDA倍率 ^{※2}	7.5倍以下

※1 営業利益+受取配当金

※2 営業利益+受取配当金+減価償却費

<参考>

設備投資額(3か年総額)	1,600億円
CO2排出量削減(2024年度)	2013年度比32%減

【参考】数値計画：連結ハイライト

- 運輸業を中心とした移動需要の回復に伴い、各指標が改善
- 財務健全性の維持を大前提に、回復局面でも必要な投資を着実に実行

	2021年度 実績	2022年度 修正予想 (2022年10月公表)	2023年度 計画	2024年度 計画
営業利益 ^{※1}	129 億円	179 億円	247 億円	280 億円
純有利子負債残高	4,460 億円	4,555 億円	4,314 億円	4,339 億円
純有利子負債残高/EBITDA ^{※2} 倍率	10.7 倍	10.0 倍	8.0 倍	7.5 倍

	2021年度 実績	2022年度 修正予想 ^{※3} (2022年10月公表)	2023年度 計画 ^{※3}	2024年度 計画 ^{※3}
設備投資総額	214 億円	439 億円	450 億円	660 億円
未来探索	—	46 億円	45 億円	57 億円
収益拡大	62 億円	161 億円	154 億円	380 億円
安全・更新	152 億円	232 億円	251 億円	223 億円

※1 営業利益＋受取配当金

※2 営業利益＋受取配当金＋減価償却費

※3 2022年度～2024年度の設備投資額は連結消去前数値

【参考】設備投資：3か年 1,600億円の内容

- 事業戦略骨子に沿い、適切な投資枠を確保
- 「持続的な企業価値の向上」と「持続可能な社会の実現」の両立を目指し、一定の投資額を“サステナブル投資”に振り向ける

1. 公共交通事業のサステナブルな経営

520億円：

- ・ サステナブルな交通ネットワーク維持のため、計画的な安全投資および更新投資を実施する

2. 選ばれる沿線づくりと不動産事業深化・拡大

930億円：

- ・ REITにより開発資金を確保しつつ、なんばエリアや泉ヶ丘エリア、物流施設の高度化等に集中投資する

3. 未来探索

150億円：

- ・ 鉄道と不動産に続く第3の柱構築に向けて、中長期的な目線で予算を配分する

うち サステナブル投資(※)

- ・ **災害対策投資：50億円**
激甚化する災害への備え・予防対策
 - ・ **DX推進投資：90億円**
データ・デジタル技術を駆使した、新たな価値・働き方の創出
 - ・ **CO2削減投資：190億円**
地球温暖化の緩和および脱炭素社会への移行の機会活用
 - ・ **ブランド向上投資：160億円**
商品・サービス・コーポレート・地域のブランド向上
 - ・ **多様性向上投資：40億円**
多様な従業員の働きやすさ向上
- **合計：460億円**(一部重複項目あり)

※サステナブル経営に掲げるマテリアリティ実現に向けた主な投資

‘なんかいいね’があふれてる

【参考】南海グループ経営ビジョン2027

- 「南海グループ経営ビジョン2027」の骨子は現時点でも不変、如何に深化させるか

《2027年のありたき姿》

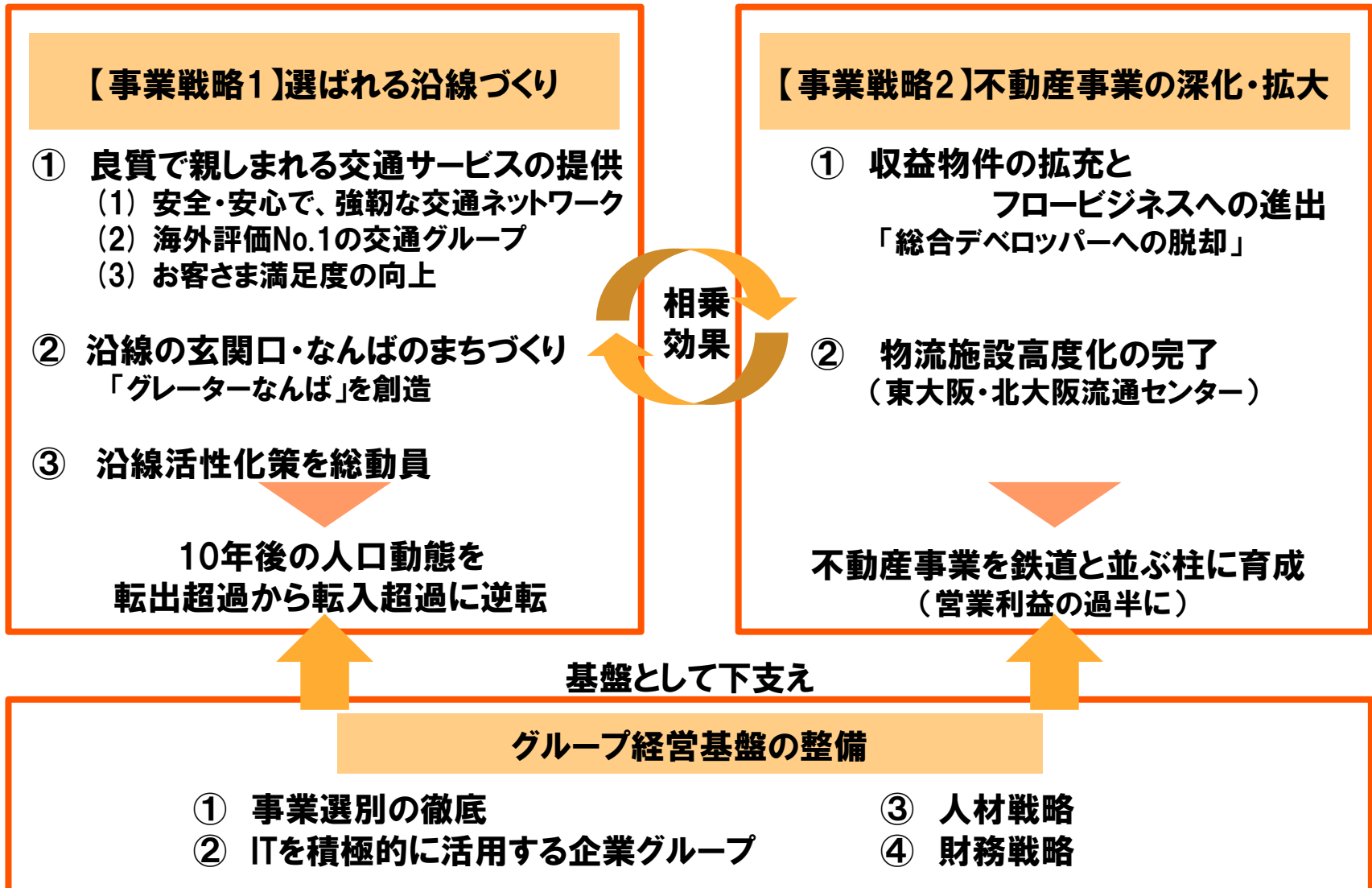
**満足と感動の提供を通じて、
選ばれる沿線、選ばれる企業グループとなる**

位置づけ

**なにわ筋線開業に向け、
沿線を磨く10年間**

- 沿線を主たる事業エリアとし、グループの総力を挙げて沿線価値向上に注力する
- 「なんば」と「インバウンド」をビジネスチャンスとして活用することで、沿線価値向上を加速させる
- アライアンスを積極活用することで、事業展開をスピードアップさせる

【参考】南海グループ経営ビジョン2027：事業戦略骨子



【参考】南海が描く“2050年の企業像”

地域共生・共創 多様な暮らし方

地域の人々とともに

地域密着を旗印に、地域・沿線の人々とのつながりを大切に保ち、多種多様な人々が幸せに暮らせる多彩な“まち”を、地元と一体となって創っていく。

モビリティ

公共交通事業者としての使命

これまで沿線で培ってきた安全・安心の運輸事業の歴史とその責任を、“人と人”、“まちとまち”、そして“人とまち”をつなぐ多様なモビリティ事業への深化で具現化し、未来につなげていく。

沿線への誇りを礎に、

関西にダイバーシティ^(※)を築く

事業家集団

多様性・グローバル

“Think Globally, Act Locally”

関空という世界(アジア)とつながる玄関口、そして“なんば”という多彩なまち…、これからも世界から多様な人々が集うこの地に寄り添いながら、互いの価値観や個性を認め、高めあえる多様性を育てていく。

南海らしさ

“みらい”を自ら切り拓く強い意志

創業からの長い歴史、その道筋で築いてきた南海グループの文化とアイデンティティ、そしてこの先の新たなロードマップ。私たちは、社会の一員としての使命と責任を胸に、新しいことに“挑戦し”、“やりきる”事業家集団となり、南海の“みらい”を切り拓いていく。

(※) **ダイバーシティ:**

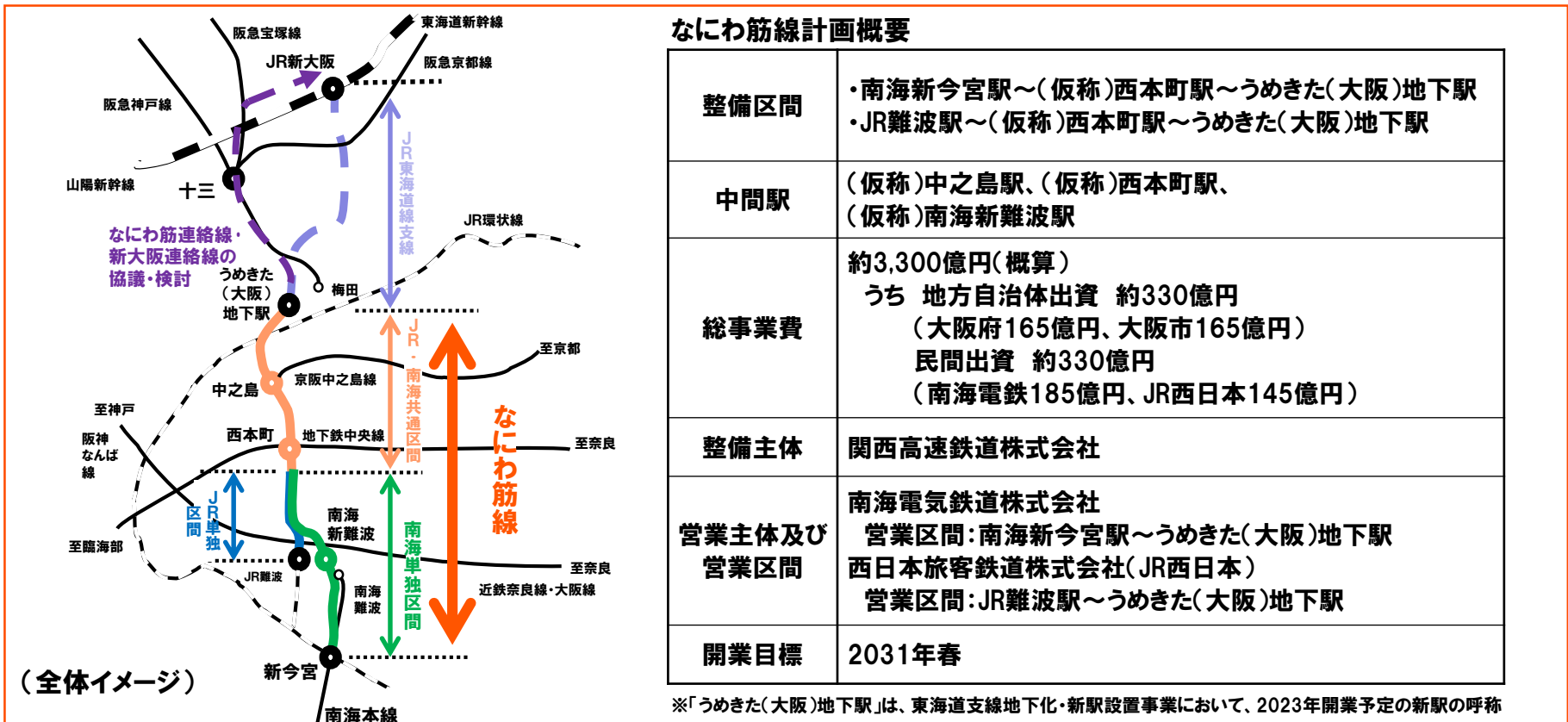
「多様性」に代表される“Diversity”と、「多様性あふれる街」を意味する“Diverse City”=“DiverCity”(造語)の2つの想いを表現している

‘なんかいね’があふれてる

【参考】なにわ筋線計画について

● なにわ筋線

- 2019年7月に鉄道事業許可の交付、2020年2月に工事施行認可の取得、都市計画決定の告示
- 2021年度下期以降、中之島駅部、西本町駅部では本格的な工事に着手、南海新難波分岐トンネル部では開削工事に向けた準備工事を推進中
- 引き続き用地買収を進めるとともに、その他区間の工事にも着手し、2031年春の開業を目指す



(参考)

- なにわ筋連絡線・新大阪連絡線は、2017年度の国による調査が行われ、良好な結果が得られた
- 調査結果を踏まえて、早期事業化を目指し、関係者での協議・検討を進める

【参考】ESGへの取り組み状況

● 気候変動への取り組み

→TCFD提言へ賛同、TCFD提言に基づく情報を開示

項目	内容
対象	南海電鉄単体の鉄道事業、不動産・流通事業
開示事項	気候変動に関するリスク(移行リスク/物理的リスク)と機会 リスク・機会により想定される定量的な事業インパクト(財務インパクト)

● ESG評価向上に資する各方針を制定

開示時期	ESG	制定方針
2022年4月	G	腐敗行為防止に関する基本方針
6月	S	健康宣言
8月	G	南海グループ資材調達方針
8月	S	南海グループ人権方針

● GPIFが採用する5つのESG投資指数のうち、4つに選定

- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数(WIN)
- S&P/JPXカーボンエフィシエント指数

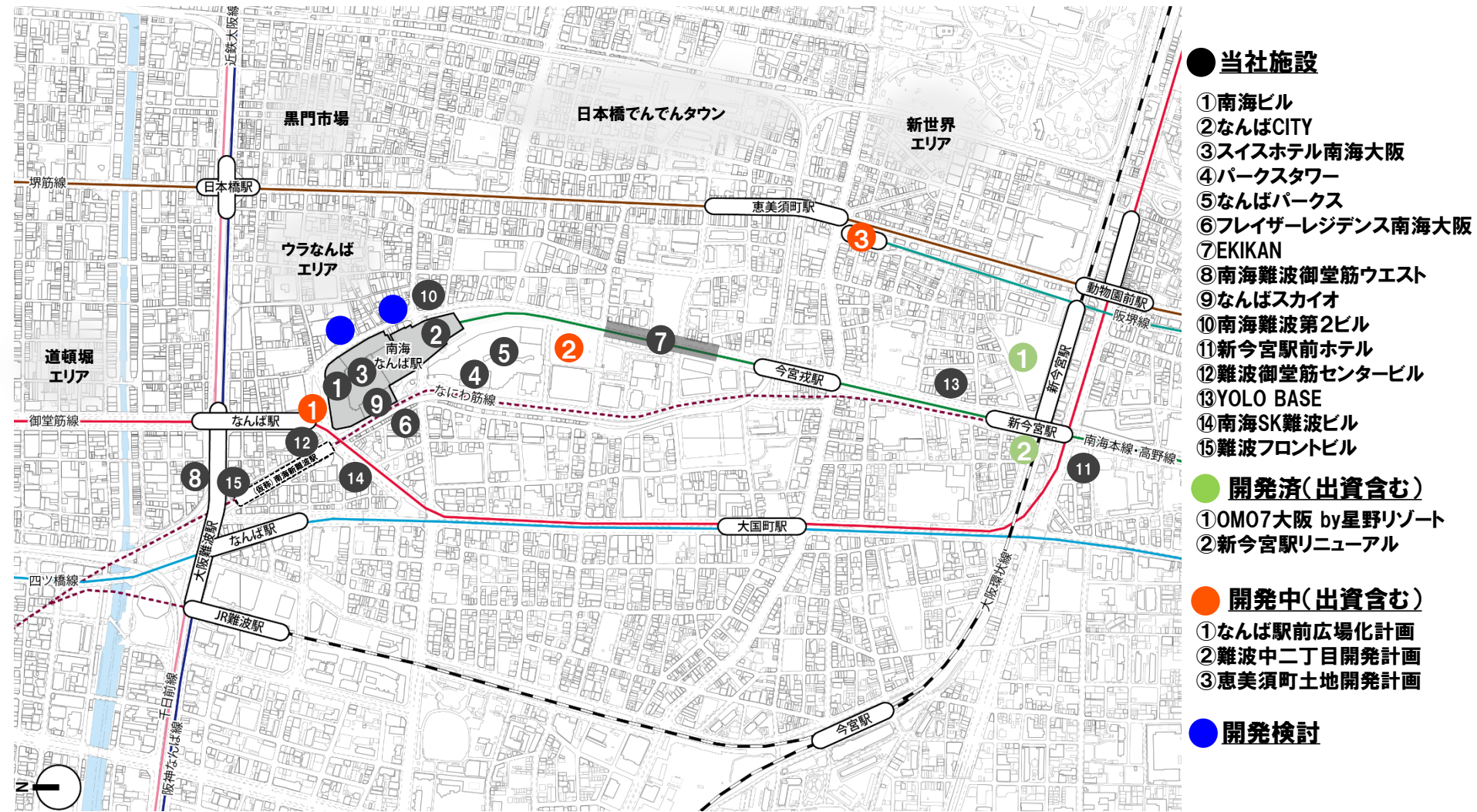
☞ サステナビリティに関する取り組みの詳細は
「[南海グループ統合報告書2022](#)」をご参照ください。

【参考】沿線マップ



‘なんかいね’があふれてる

【参考】グレーターなんばエリア 主な当社施設(MAP)



※なにわ筋線:現在整備中の路線

‘なんかいいいね’があふれる

【参考】グレーターなんばエリア 主な当社施設(一覧表)

施設名	賃貸面積	竣工年月(取得年月)	主な用途
①南海ビル	49,827㎡	1932年7月	高島屋大阪店、店舗
②なんばCITY	約33,200㎡	1978年※2	商業施設
③スイスホテル南海大阪	61,557㎡	1990年3月	ホテル
④パークスタワー	36,500㎡	2003年8月	オフィス、店舗
⑤なんばパークス	約51,800㎡	2003年10月※2	商業施設
⑥フレイザーレジデンス南海大阪	7,332㎡※1	2010年7月	サービスアパートメント
⑦EKIKAN	約3,700㎡	2014年※2	商業施設
⑧南海難波御堂筋ウエスト	4,286㎡	1985年9月(2018年7月)	オフィス
⑨なんばスカイオ	45,927㎡	2018年10月	オフィス、医療施設、ホール・カンファレンス、商業サービス施設
⑩南海難波第2ビル	1,500㎡※1	1988年11月(2018年11月)	オフィス
⑪新今宮駅前ホテル	4,952㎡※1	2018年8月(2018年12月)	ホテル
⑫難波御堂筋センタービル	(当社保有分) 5,665㎡ (全体) 6,217㎡	1992年3月(2019年4月)	オフィス、店舗
⑬YOLO BASE	3,156㎡※1	2019年9月	コワーキングスペース、学生寮
⑭南海SK難波ビル	14,141㎡	1983年3月(2020年2月)	オフィス
⑮難波フロントビル	6,460㎡	1992年3月(2020年5月)	オフィス

‘なんかいね’があふれてる



※1 延床面積

※2 第1期オープン

(2022年11月17日現在)

<IRのお問い合わせ先>

**南海電気鉄道株式会社
経営政策室 経営戦略部(IR担当)**

TEL :06-6644-7105

E-mail:nankai_ir@nankai.co.jp

<https://www.nankai.co.jp/>

「見通し」に関する注意事項

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。

本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。